

位置情報の利用に対する意識調査

平成26年5月

総務省情報通信政策研究所

調査概要	・・・2p
調査結果 概要	・・・3p
本調査結果	
1 携帯電話を通じて取得できる位置情報の認知度	・・・4p
2 携帯電話で利用するサービス	・・・5p～7p
3 位置情報サービス利用・位置情報提供の設定方法の認知度	・・・8p
4 携帯電話の位置情報の提供状況	・・・9p
5 位置情報を提供して利用しているサービス・機能	・・・10p～12p
6 自分の位置情報を提供することに対する考え方	・・・13p
7 携帯の位置情報の活用目的の認知度 - 広告・商品開発等	・・・14p
8 無料サービスと引き替えに、企業が位置情報などを利用することに対する意識	・・・15p
9 位置情報の利用に対する許容度	・・・16～18p
10 位置情報の提供を許容できる主体	・・・19～20p
11 位置情報主体に求めたい事項	・・・21p
12 位置情報を提供してもよいと思える対価(金額)	・・・22p
13 位置情報の利用に当たり気になる項目・度合い	・・・23～26p
14 位置情報の提供時に確認したいこと	・・・27～29p

調査目的

電気通信事業者が取得可能な位置情報について、位置情報を提供し、多様な目的に利用される事に対する携帯利用者の意識に関して調査を行う。

調査対象
/調査手法

1 調査対象

- 18以上69歳までの男女
- 各年代300人(10代のみ100人) 計1,600サンプル
- 携帯電話保有者を対象

	男性	女性	合計
18-19歳	50	50	100
20-29歳	150	150	300
30-39歳	150	150	300
40-49歳	150	150	300
50-59歳	150	150	300
60-69歳	150	150	300
合計	800	800	1,600

2 調査手法

- 調査会社(株式会社クロスマーケティング)のパネルに対するウェブアンケート
- 調査の企画・分析に当たっては東京大学情報学環 橋元 良明教授、東京大学大学院学際情報学府博士課程(橋元研究室在籍) 河井 大介氏にご協力頂いた。

調査期間

□2014年3月21日(金)~2014年3月23日(日)

調査結果 概要

◆ 現在、位置情報を提供し、何らかのサービスを利用している人は全体の32.8%。【9頁】

- 具体的に位置情報を提供している例としては、「携帯端末の位置情報サービスをオンにしている」「天気予報、気象情報」「Googleマップ」における割合が高く、それぞれ2割超。【10頁】
- 位置情報の提供について「特に気にならない」「自分にとって便利なサービスが使えるなら気にせず提供する」を合わせると37.2%、「気になるが便利なサービスのためにはやむを得ない」を合わせると65.4%が提供意向がある。【13頁】
- 一方、位置情報提供の設定方法を知らない人が45.6%、提供しているかわからない人が全体の38.6%と、設定のわかりやすさや、利用の告知方法に課題がある可能性も。【8-9頁】

◆ 「災害(緊急)」「防災」といった公共目的のための位置情報利用については、条件付きを含めると9割以上が「許容できる」と回答。【16頁】

- 「災害(緊急)」「防災」目的の位置情報利用は、「許容できる」がそれぞれ67.3%、58.7%。「条件付きで許容できる」を含めると9割以上が許容できると回答。これら公共性が特に高く、自分の安全に関わるものについては、許容度が高い。

◆ 企業による位置情報利用については、自分にメリットがあるサービスのためであれば「条件付きで許容できる」を含めると7割超が許容できると回答。【16頁】

- 「企業による地図ナビゲーションサービス(無料)」「企業による最寄りの店舗情報・クーポン配信(無料)」の目的の位置情報利用は、条件付きを含めると7割超が許容できると回答。ただし条件付きの占める割合が5割程度と高くなる。

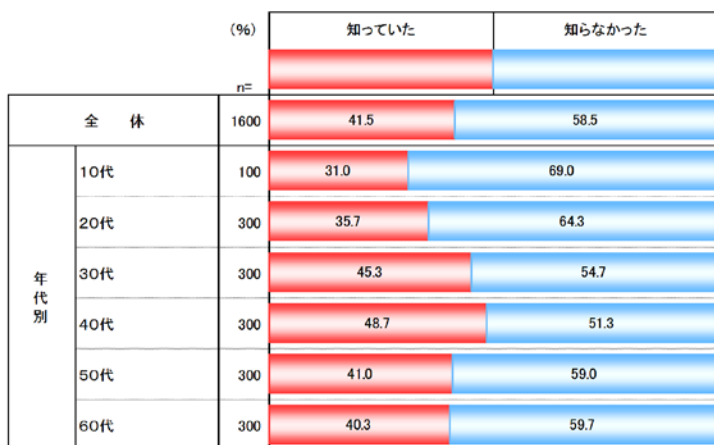
◆ 位置情報利用を「許容できる」(条件付き含む)と回答した人が、利用主体に求める事項は「利用目的やどのような組織・主体が利用するかについての明確な説明」。位置情報利用に当たっての懸念事項は、「個人が特定されないか」「第三者への提供の有無やその提供先」「削除要求の可否とその方法」。【21、23頁】

- 「許容できる」「条件付きで許容できる」人の6割が「利用目的やどのような組織・主体が利用するかについての明確な説明」を求めている。【21頁】
- 位置情報利用に当たり、「個人が特定されないか」「第三者への提供の有無やその提供先」は8割弱、「削除要求の可否とその方法」は7割超が「気にする」と回答。位置情報提供に当たっては、これらの懸念事項に加え、「位置情報の利用目的」「位置情報の取得主体」等、利用に関する基本的な事項を明確に確認したいという回答が多かった。【23、27頁】

1 携帯電話を通じて取得できる位置情報の認知度

Q 携帯電話を通じて取得できる位置情報には、3種類があります。あなたはそのことを知っていましたか。あてはまるものをそれぞれお選びください。

1 基地局情報



※n=30未満は参考値のため灰色。

2 Wi-Fiアクセスポイントによる位置情報



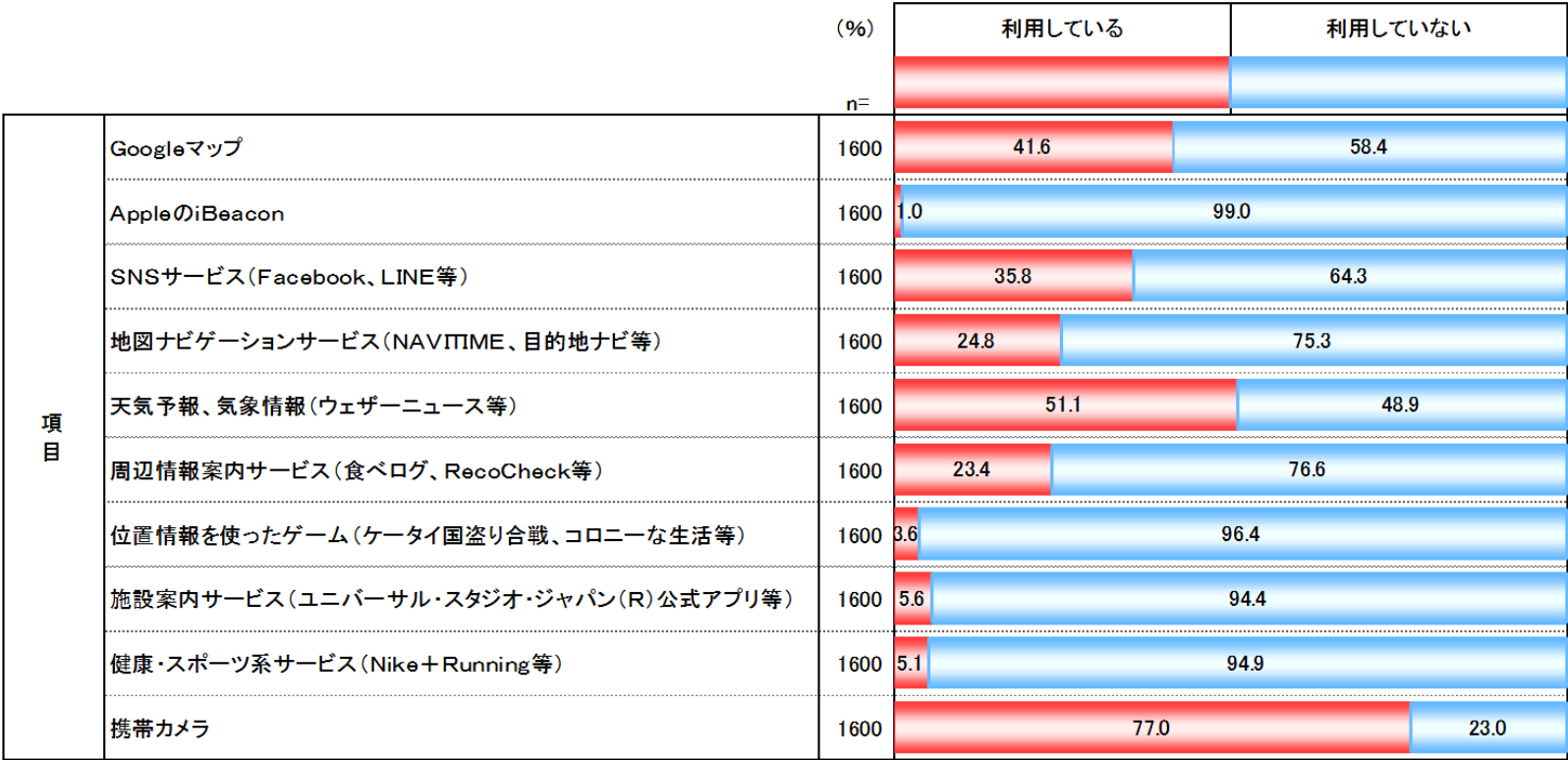
3 GPS位置情報



- 携帯電話を通じて取得できる位置情報の認知度は、基地局情報(41.5%)、Wi-Fi(36.5%)、GPS(65.0%)とGPSが最も高い。
- 全体に、40代の認知度が高い。

2 携帯電話で利用するサービス(全体)

Q あなたは携帯を使用して次のようなサービスを利用していますか。あてはまるものをそれぞれお選び下さい。



※n=30未満は参考値のため灰色。

※※AppleのiBeaconについては、iPhone利用者以外は「利用していない」として計算

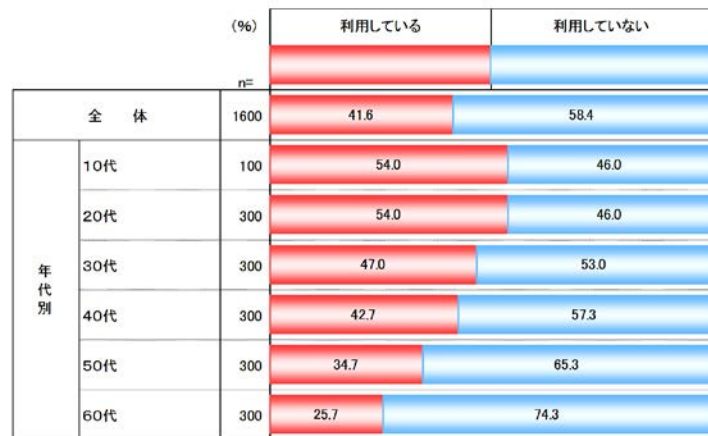
➤ 位置情報の設定の有無にかかわらず、携帯電話を使用して利用しているサービス・機能としては、「携帯カメラ」(77.0%)、「天気予報、気象情報」(51.1%)、「Googleマップ」(41.6%)が多い。

2 携帯電話で利用するサービス(サービス毎・年代別) - 1

6

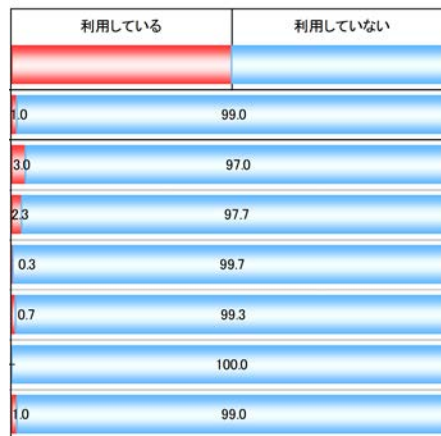
Q あなたは携帯を使用して次のようなサービスを利用していますか。あてはまるものをそれぞれお選び下さい。

1 Googleマップ

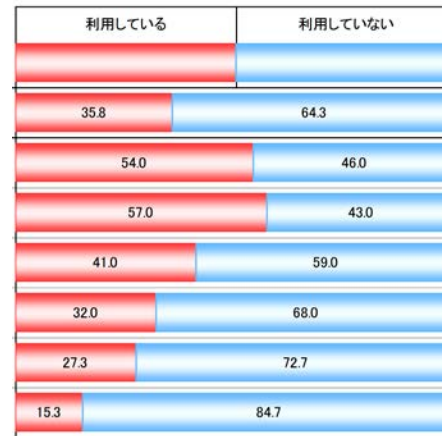


※n=30未満は参考値のため灰色。

2 AppleのiBeacon



3 SNSサービス



4 地図ナビゲーションサービス



※n=30未満は参考値のため灰色。

5 天気予報、気象情報



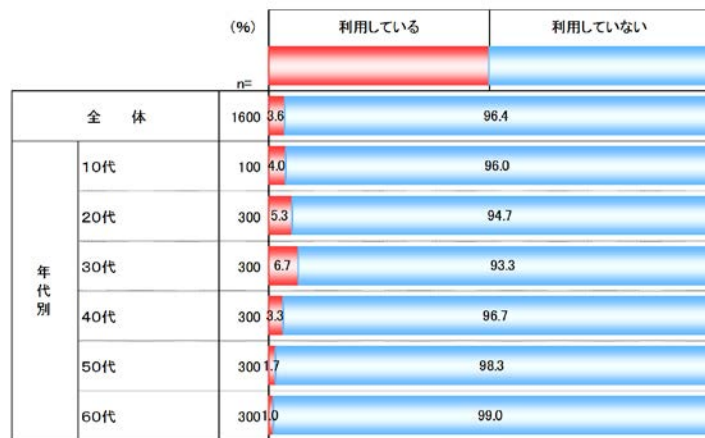
6 周辺情報案内サービス



2 携帯電話で利用するサービス(サービス毎・年代別)-2

Q あなたは携帯を使用して次のようなサービスを利用していますか。あてはまるものをそれぞれお選び下さい。

7 位置情報を使ったゲーム



※n=30未満は参考値のため灰色。

8 施設案内サービス



9 健康・スポーツ系サービス



10 携帯カメラ



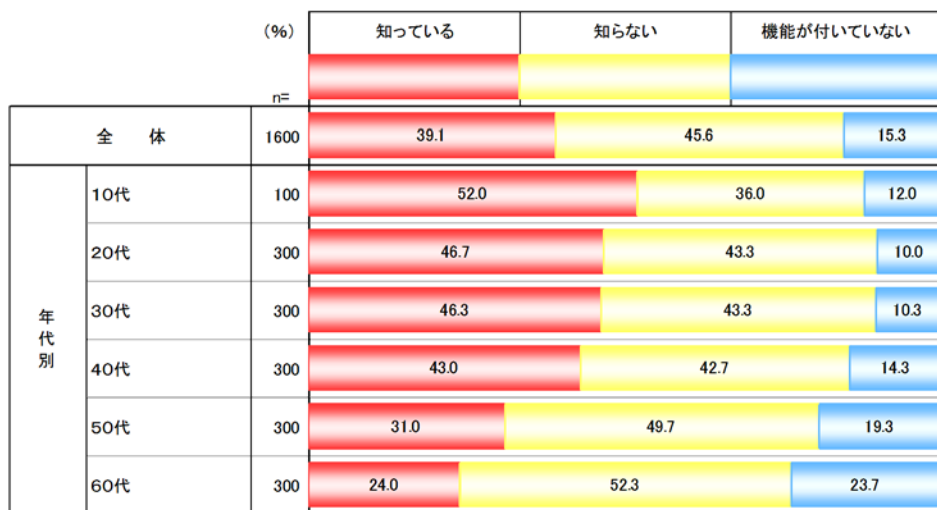
※n=30未満は参考値のため灰色。

➤ 年代別に見ると、携帯電話の各種サービスは、20代が最も利用している傾向がある。

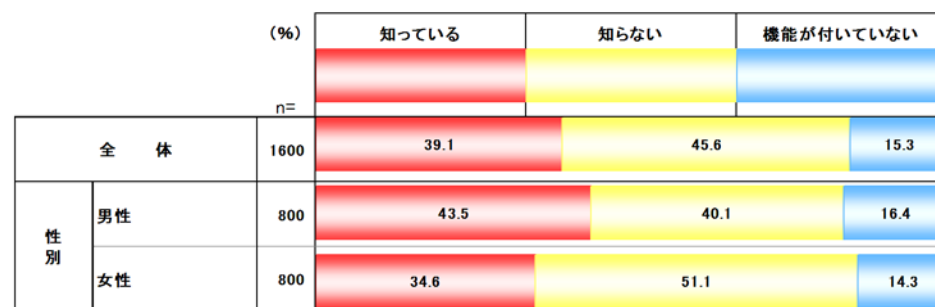
➤ ただし、「携帯カメラ」の利用は40代が多い。

3 位置情報サービス利用・位置情報提供の設定方法の認知度

Q あなたは、自分の携帯の位置情報サービス利用・位置情報の提供の設定をどこでオン・オフにするか知っていますか。次のどちらか一つだけをお選びください。



※n=30未満は参考値のため灰色。

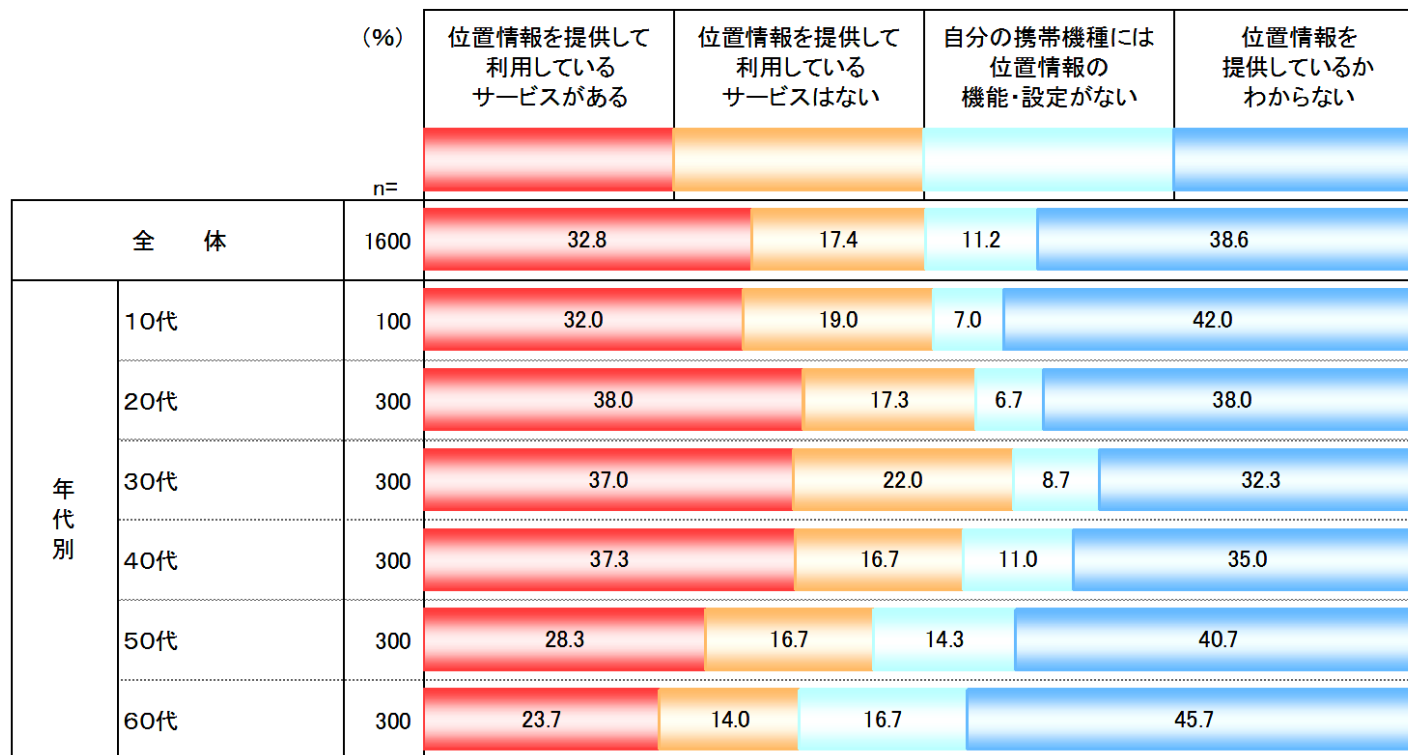


※n=30未満は参考値のため灰色。

- 携帯電話の位置情報サービスのオン／オフの設定方法の認知度は、全体で39.1%。一方で設定方法を知らない人は45.6%と知らない人の割合の方が高く、設定のわかりやすさや、利用の際の告知のあり方に課題がある可能性も。
- 年代が下がるほど認知度が上がる傾向があり、30代以下は約半数が設定方法を知っている。
- 女性より男性の認知度が高い傾向。女性の過半数が設定方法を知らない。

4 携帯電話の位置情報の提供状況

Q あなたは、現在、携帯電話の位置情報サービスをオンにし、あるいは位置情報の設定をオンにすることにより、位置情報を提供して利用しているサービスがありますか。



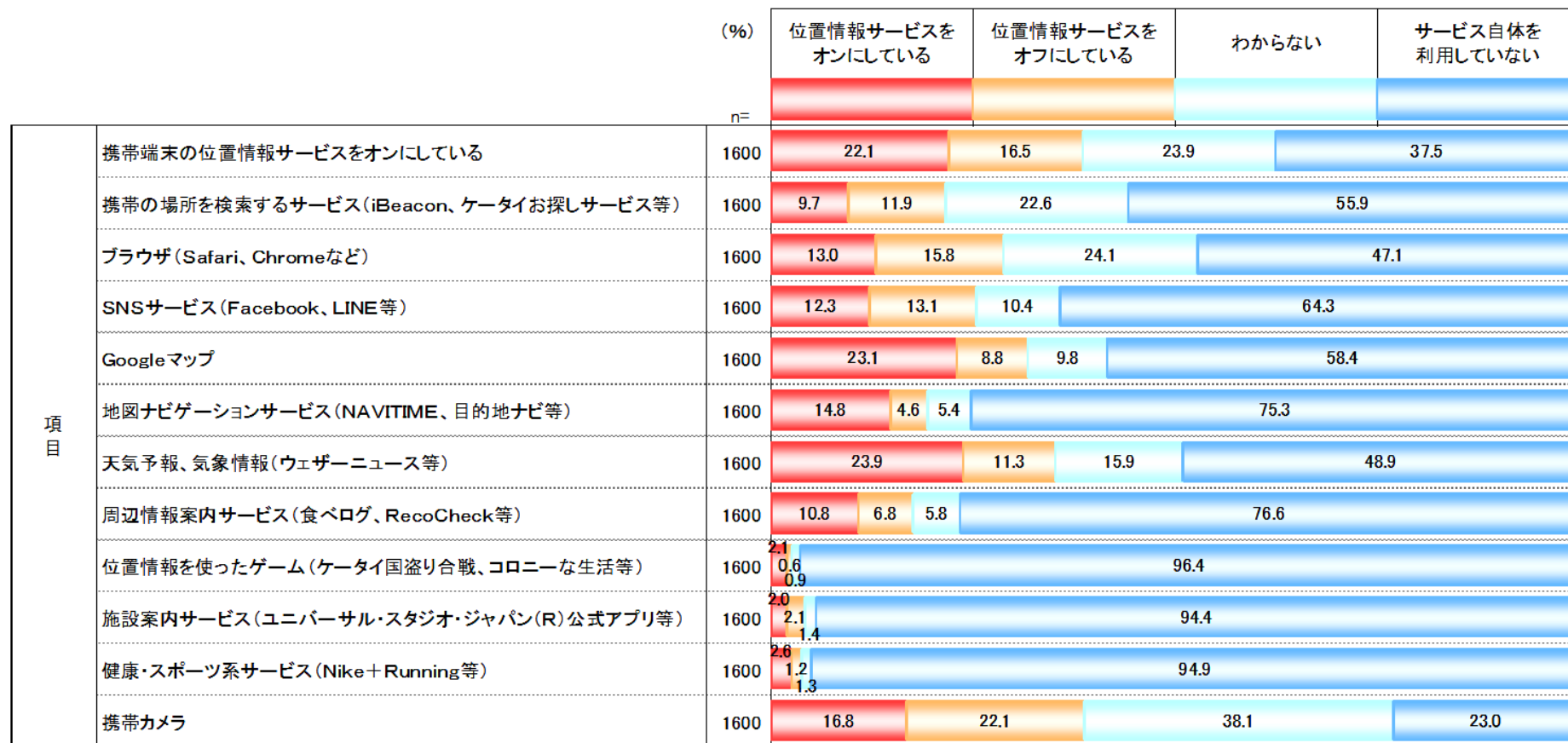
※n=30未満は参考値のため灰色。

- 位置情報を提供して利用しているサービスがある人の割合は32.8%。20代から40代の割合が高い。
- 一方で全体に3割から4割の人は「位置情報を提供しているかわからない」と回答している。設定のわかりやすさや、利用の際の告知のあり方に課題がある可能性も。

5 位置情報を提供して利用しているサービス・機能(全体)

10

Q 現在、あなたの位置情報を提供して、利用しているサービス・機能は、次のどれですか。



※n=30未満は参考値のため灰色。

➤ 携帯電話端末の位置情報サービスをオンにしている人の割合は22.1%。

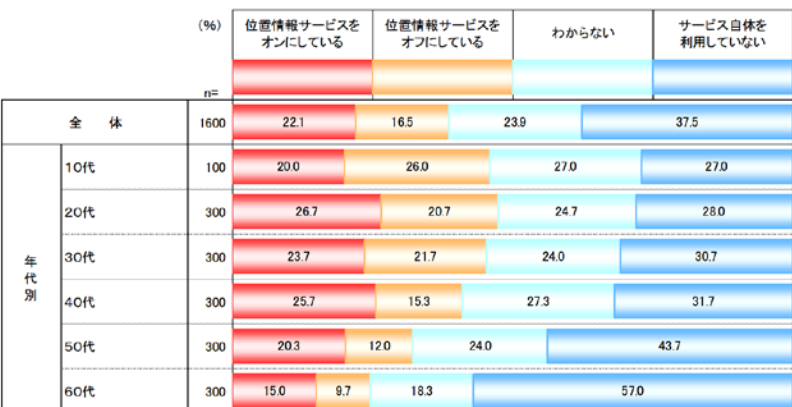
➤ 「天気予報、気象情報」(23.9%)や「Googleマップ」(23.1%)について位置情報サービスをオンにしている割合が高い。

5 位置情報を提供して利用しているサービス・機能(サービス/機能毎・年代別)-1

11

Q 現在、あなたの位置情報を提供して、利用しているサービス・機能は、次のどれですか。

1 携帯端末の位置情報サービス設定

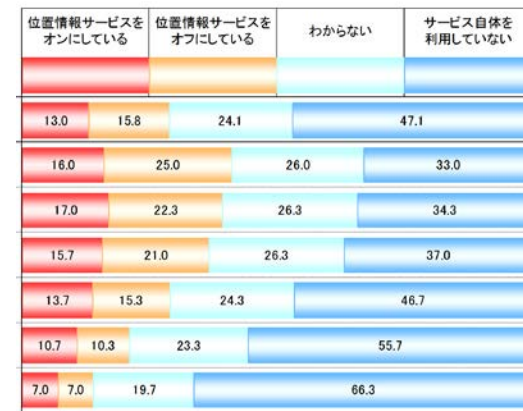


※n=30未満は参考値のため灰色。

2 iBeacon、ケータイお探しサービス等



3 ブラウザ(Safari、Chrome等)



4 SNSサービス(Facebook、LINE等)



※n=30未満は参考値のため灰色。

5 Googleマップ



6 地図ナビゲーションサービス (NAVITIME、目的地ナビ等)



<※4-6については、Q2で“利用していない”とした回答者を“サービス自体を利用していない”に含めて集計>

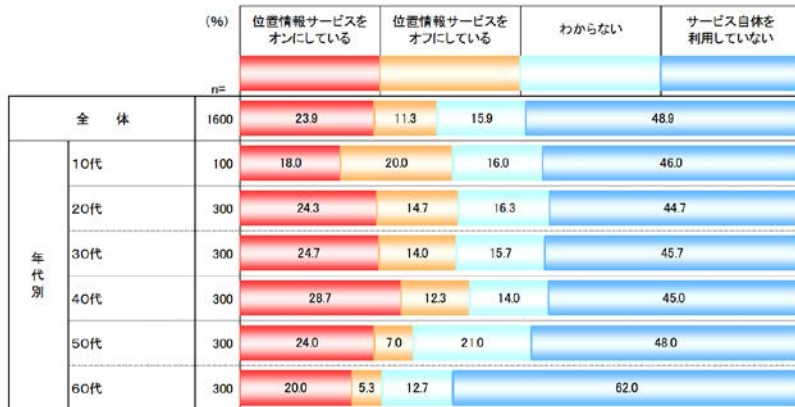
5 位置情報を提供して利用しているサービス・機能(サービス/機能毎・年代別)-2

12

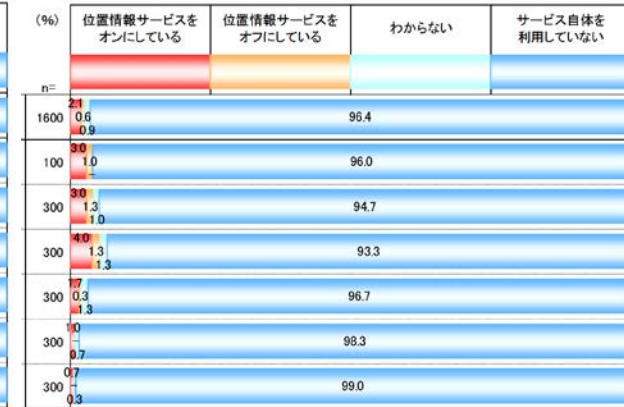
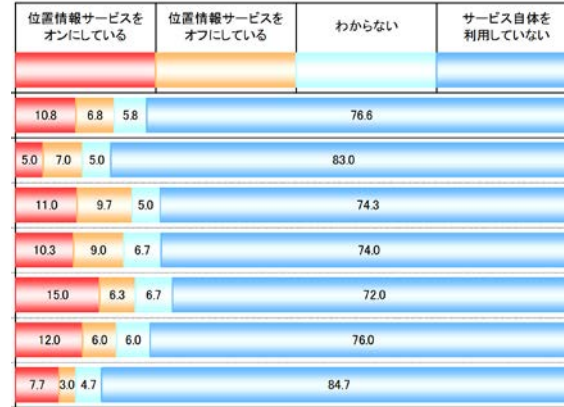
Q 現在、あなたの位置情報を提供して、利用しているサービス・機能は、次のどれですか。

7 天気予報、気象情報(ウェザーニュース等)

8 周辺情報案内サービス(食べログ、RecoCheck等) 9 位置情報を使ったゲーム(ケータイ国盗り合戦、コロニーな生活等)



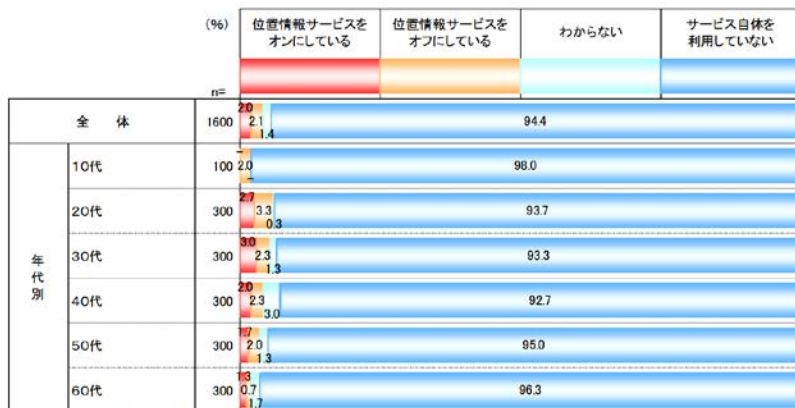
※n=30未満は参考値のため灰色。



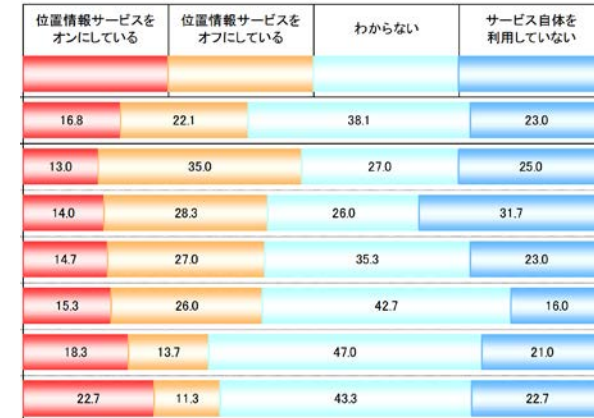
10 施設案内サービス(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(R)公式アプリ等)

11 健康・スポーツ系サービス(Nike+Running等)

12 携帯カメラ



※n=30未満は参考値のため灰色。

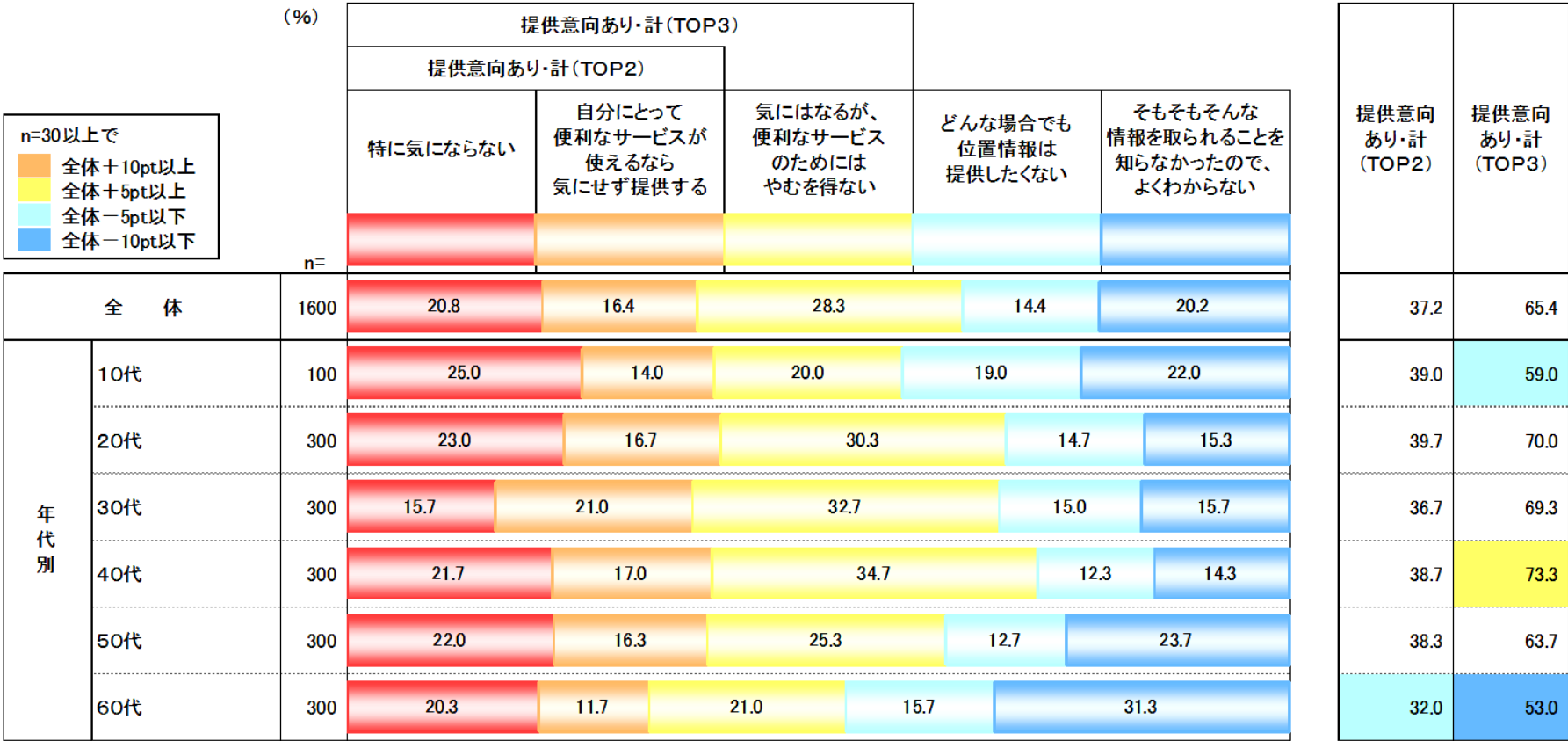


<※7-12については、Q2で“利用していない”とした回答者を“サービス自体を利用していない”に含めて集計>

➤ いずれのサービスでも20～40代でオンにしている人が多い傾向。

6 自分の位置情報を提供することに対する考え方

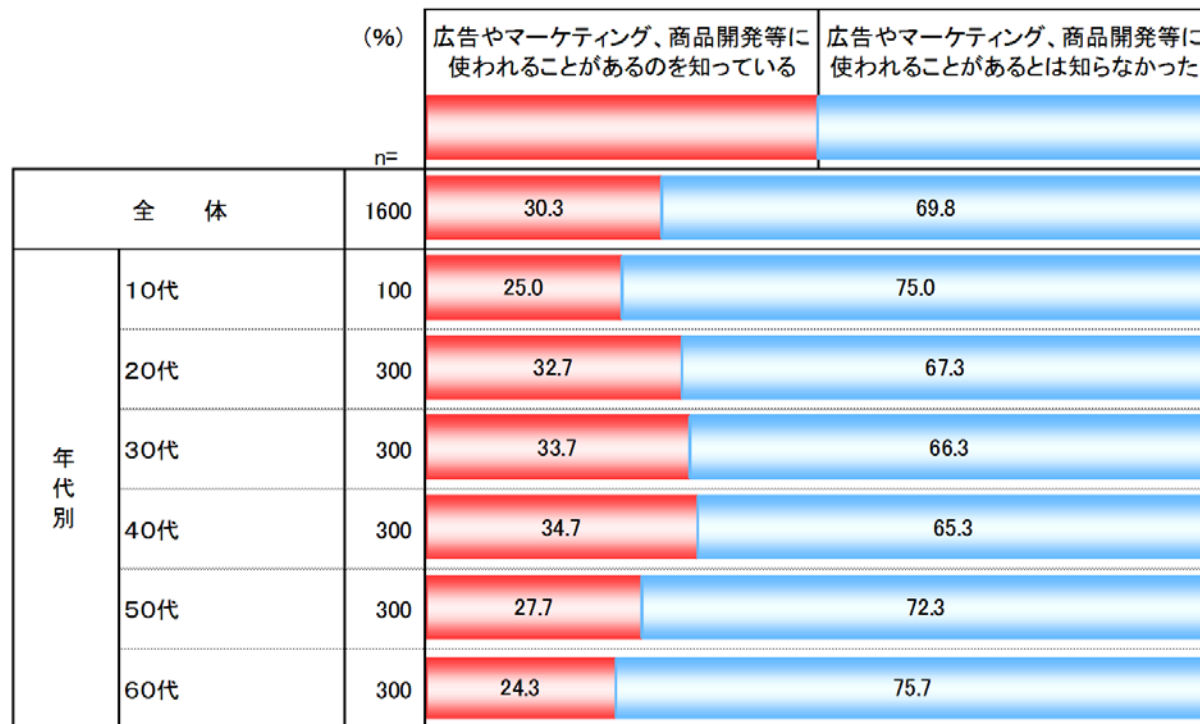
Q 5のサービスについて、自分の位置情報を提供することについて、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近いものをお選びください。



※n=30未満は参考値のため灰色。

- 自分の位置情報を提供することに対し、「特に気にならない」「便利なサービスが使えるなら気にせず提供する」の合計は全体で37.2%。60代以外の年代では特に年代差もなく40%弱。
- さらに「気にはなるが、便利なサービスのためにはやむを得ない」を含め、位置情報を提供する意向がある人は全体で65.4%。なお、提供はするが「気にはなる」人は、20代から40代に多い傾向。
- 50代、60代になると位置情報を取得されることに関する認知度が低下する傾向。

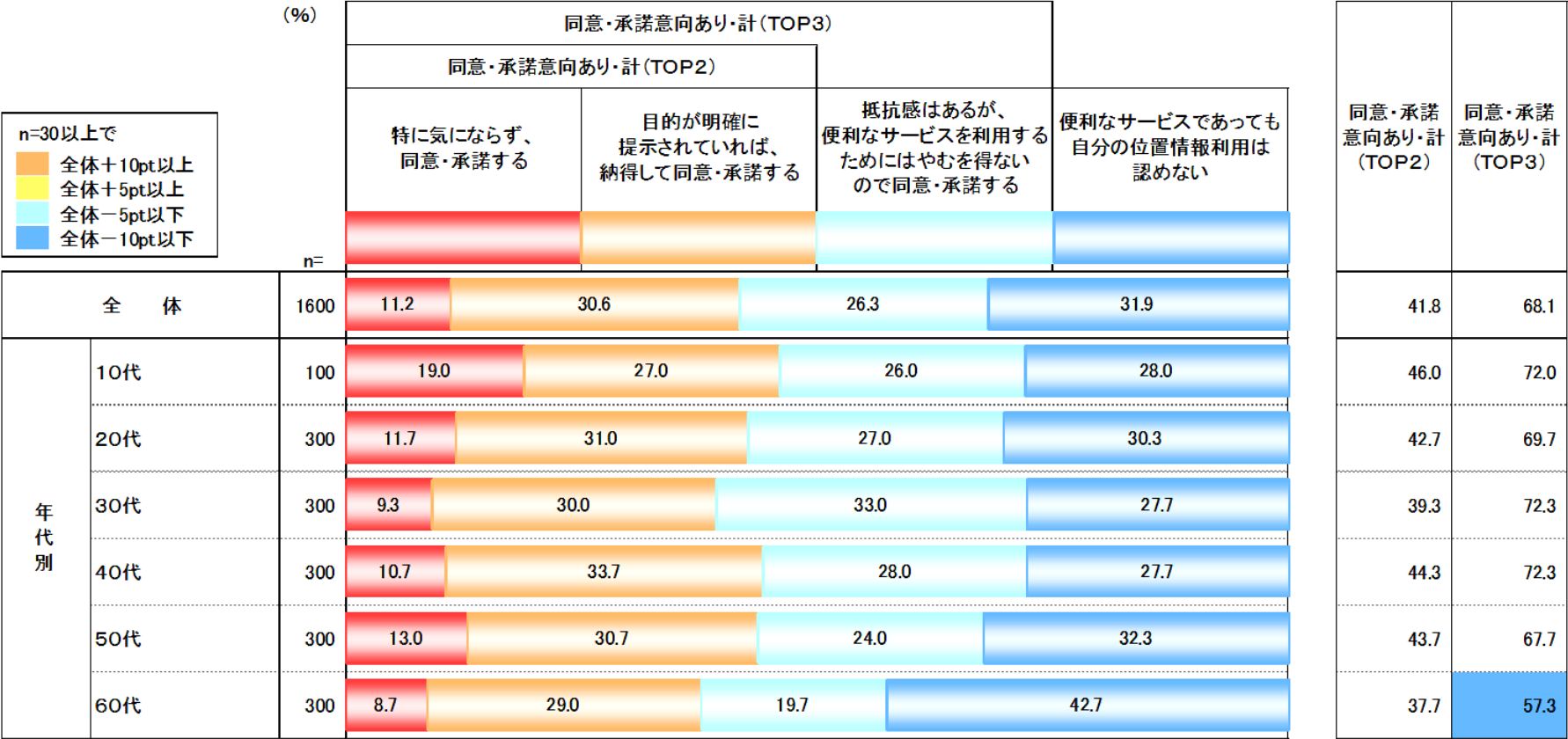
Q 携帯の位置情報をオンにしたり、各種サービスへの位置情報の提供を認めると、位置情報を取得した企業等が、他の情報とともに広告、商品開発等に用いることがあります。このことを知っていますか。



※n=30未満は参考値のため灰色。

- 位置情報が企業の広告やマーケティング、商品開発等に使われることがあることの認知度は30.3%。
- 20～40代で認知度が高めであるが、全体に必ずしも認知度が高いとはいえず、承諾の取り方、告知のあり方等に課題がある可能性も。

Q 携帯上で、無料で便利なサービスを提供する代わりに、企業が商品開発、広告配信等に位置情報やあなたのアカウント情報、他の情報を用いることについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。



※n=30未満は参考値のため灰色。

- 無料で便利なサービスと引き換えに、企業が位置情報等を利用することに対して「特に気にならず、同意・承諾する」「目的が明確に提示されていれば納得して同意・承諾する」人は41.8%。特に大きな年代差も見られない。
- 「抵抗感はあるが、やむを得ない」を含めると、位置情報を提供する意向がある人は68.1%。
- 「便利なサービスであっても認めない」人は60代に多い傾向。

Q あなたの位置情報を次のような目的に利用することについて、あなたの考えに最も近いのはどれですか。

		(%)	許容できる・計			許容できる・計
			許容できる	条件付きで許容できる	どんな場合でも許容できない	
		n=				
項目	災害(緊急) 被災地域の被害状況把握・救援活動、避難・帰宅支援	1600	67.3	28.1	4.6	95.4
	防災計画策定・避難場所設置・防犯	1600	58.3	35.5	6.2	93.8
	交通情報・渋滞緩和	1600	45.0	44.1	10.9	89.1
	観光促進のための統計	1600	20.3	52.9	26.8	73.2
	企業による地図ナビゲーションサービス(無料)	1600	24.1	51.4	24.5	75.5
	企業による最寄りの店舗情報・クーポン配信(無料)	1600	20.5	50.5	29.0	71.0
	ソーシャルメディアの利用	1600	11.0	43.2	45.8	54.2
	広告・マーケティングやサービス向上	1600	9.1	46.1	44.8	55.3

※n=30未満は参考値のため灰色。

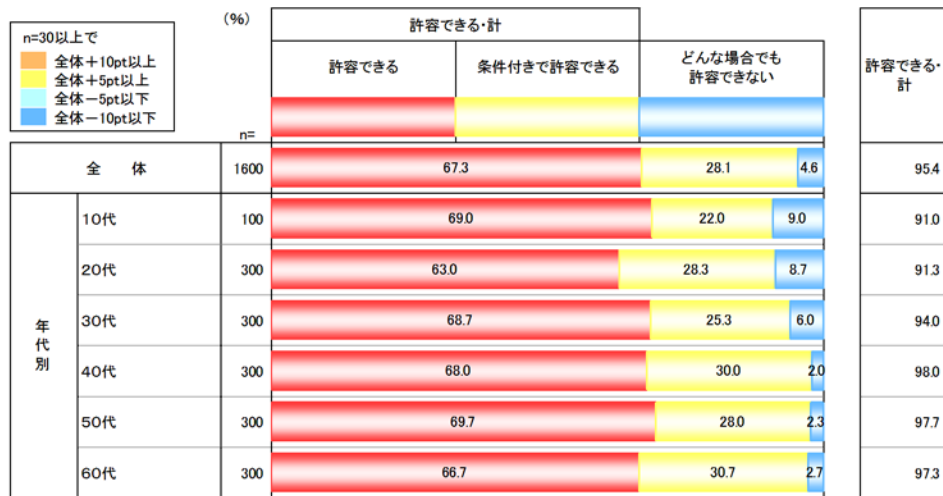
- 位置情報の利用に対する目的別の許容度は、「災害(緊急)」「防災・防犯」については「許容できる」がそれぞれ67.3%、58.3%。さらに「条件付きで許容できる」を合わせると、それぞれ95.4%、93.8%と特に高い。次いで交通情報・渋滞緩和(89.1%)となっているが、公共性が高く、自分の安全に関わるものほど許容度が高い傾向。
- 企業が利用する場合であっても、「地図ナビゲーションサービス」「最寄りの店舗情報・クーポン配信」といった自分にメリットがあるサービスを享受するためであれば、それぞれ75.5%、71.0%と比較的、許容度が高い。ただし、「条件付きで許容」の割合が5割超と高くなる。

9 位置情報の利用に対する許容度(公共目的・年代別)

17

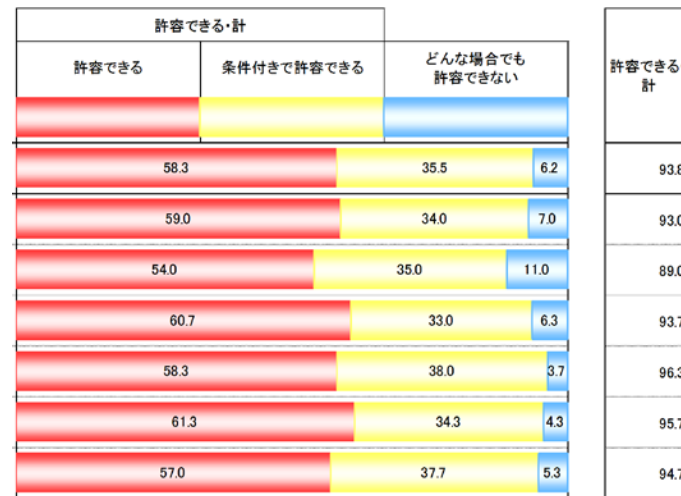
Q あなたの位置情報を次のような目的に利用することについて、あなたの考えに最も近いのはどれですか。

1 災害(緊急) 被災地域の被害状況把握・救援活動、避難・帰宅支援

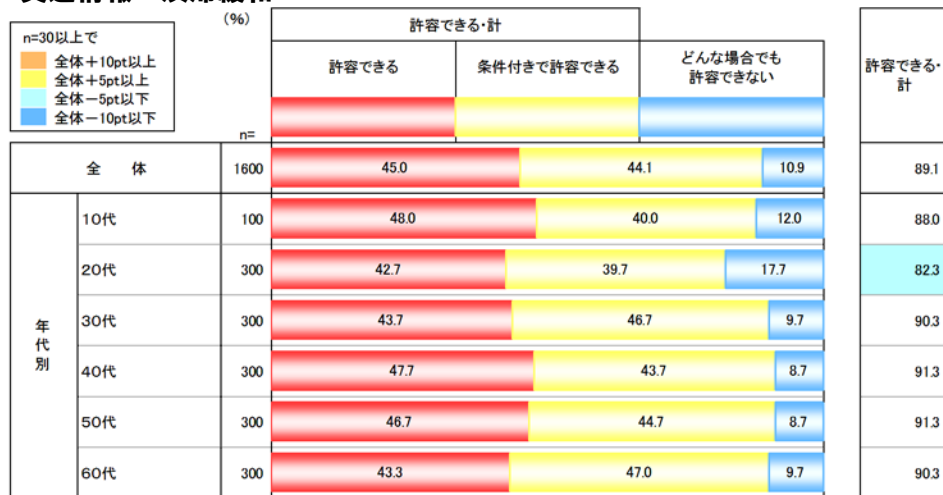


※n=30未満は参考値のため灰色。

2 防災計画策定・避難場所設置・防犯

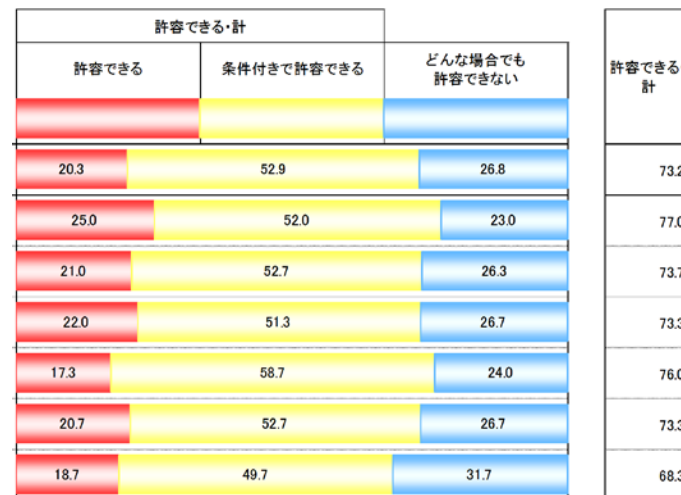


2 交通情報・渋滞緩和



※n=30未満は参考値のため灰色。

4 観光促進のための統計



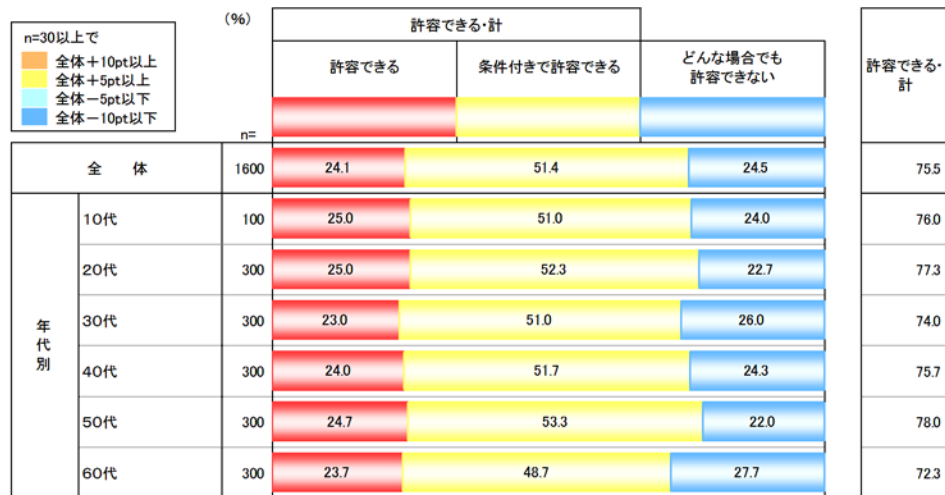
➤ 年層別には特に特徴は見られない。

9 位置情報の利用に対する許容度(企業の事業目的・年代別)

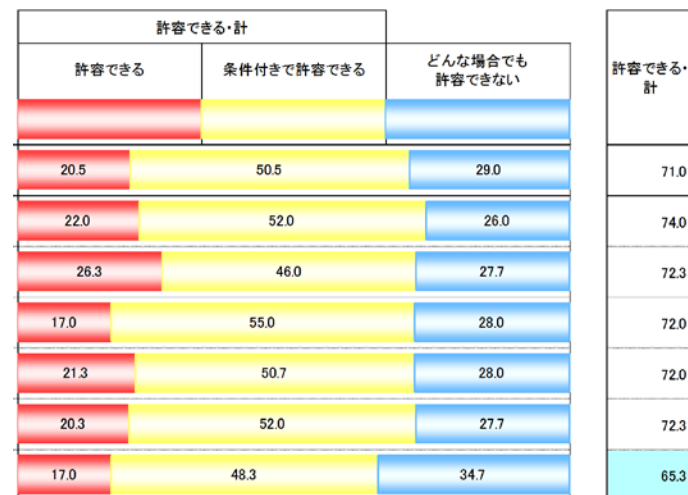
18

Q あなたの位置情報を次のような目的に利用することについて、あなたの考えに最も近いのはどれですか。

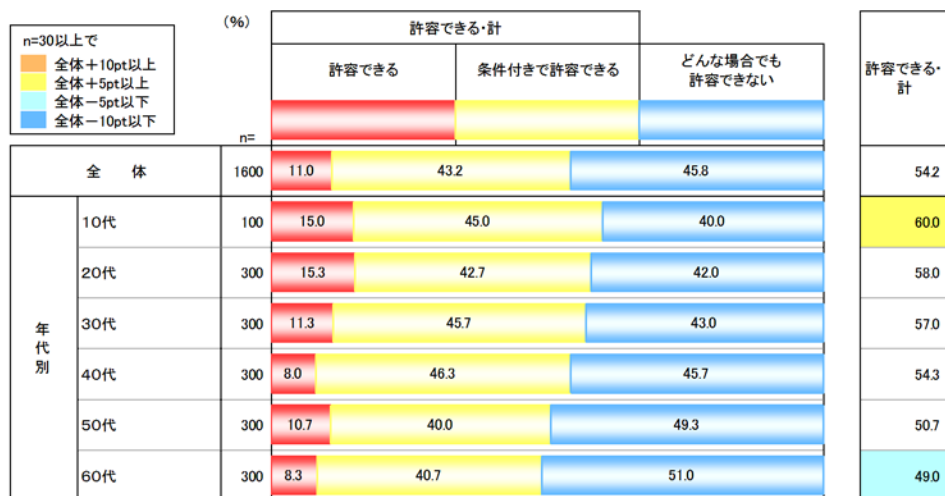
5 企業による地図ナビゲーションサービス(無料)



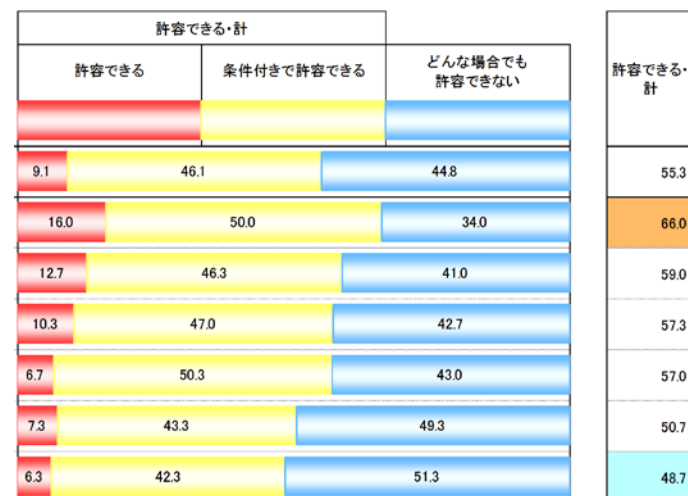
6 企業による最寄りの店舗情報・クーポン配信(無料)



7 ソーシャルメディアの利用

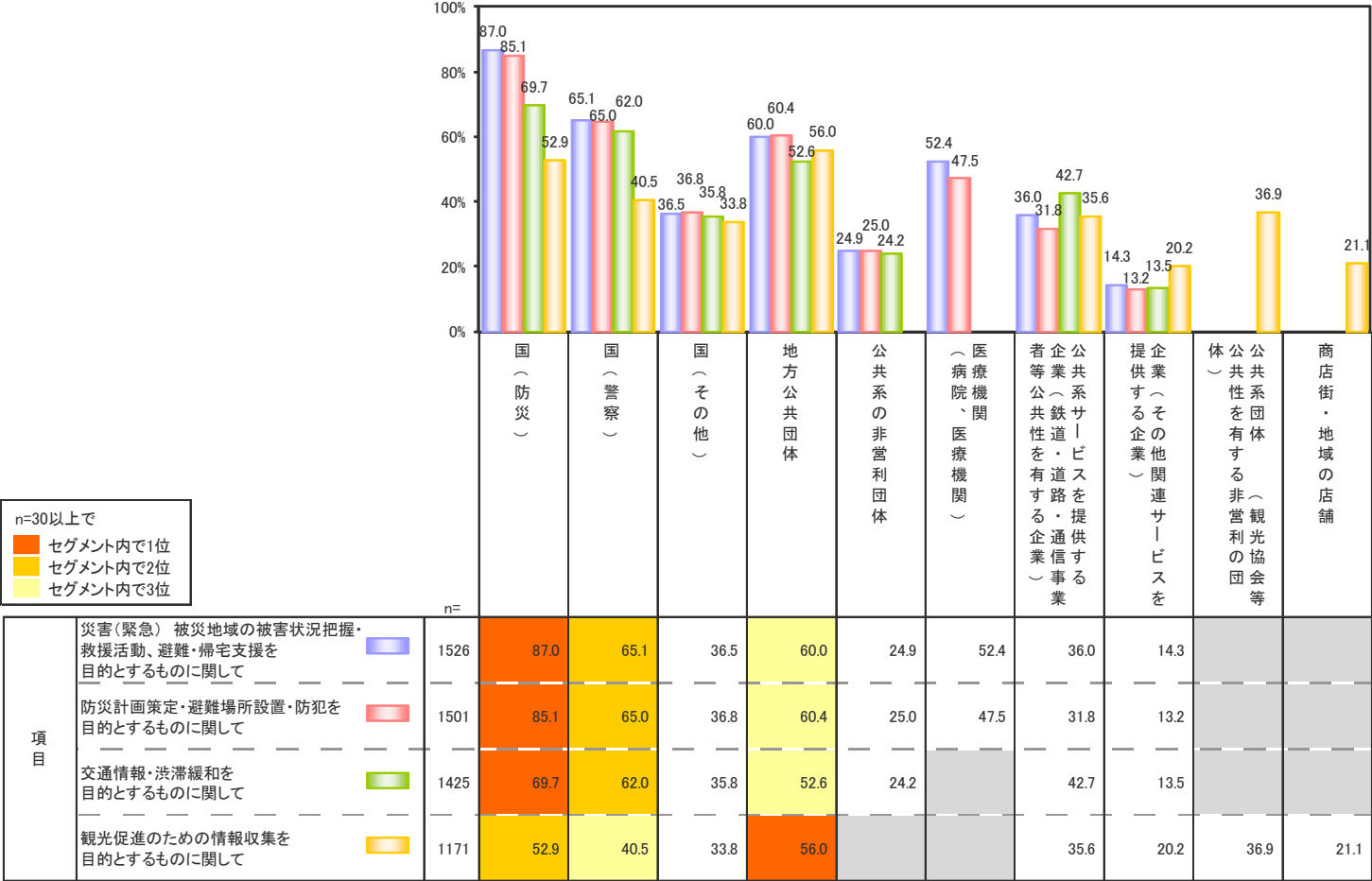


8 広告・マーケティングやサービス向上



▶「7 ソーシャルメディアの利用」「8 広告・マーケティングやサービス向上」について、50代、60代がやや低い。

Q 下記の目的について位置情報をどのような主体にまで提供することが許容できますか。

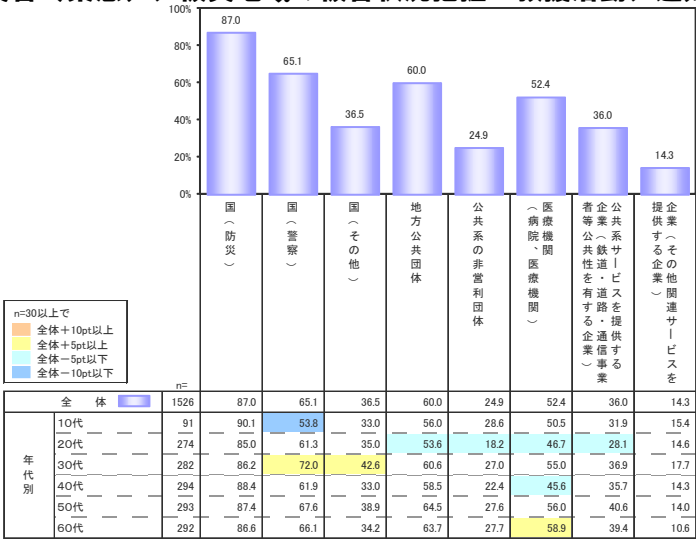


- 「災害(緊急)」「防災・防犯」では、「国(防災)」が特に高く、それぞれ87.0%、85.1%が許容すると回答。次いで、「国(警察)」「地方公共団体」が6割超で続く。
- 「交通情報・渋滞緩和」でも「国(防災)」がトップであるが、69.7%と下がり、2番目の「国(警察)」と差が縮まる。
- 「観光促進」では、国を許容する割合が減り、「地方公共団体」が56.0%が一番に。
- 「医療機関」は5割前後、「公共系サービスを提供する企業」については3~4割の人が許容できると回答。

10 位置情報の提供を許容できる主体(公共目的のみ・年代別)

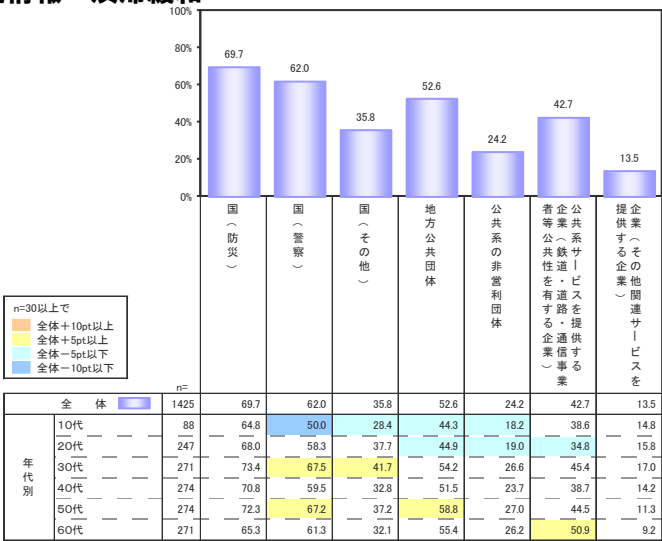
Q 下記の目的について位置情報をどのような主体にまで提供することが許容できますか。

1 災害(緊急)、被災地域の被害状況把握・救援活動、避難・帰宅支援



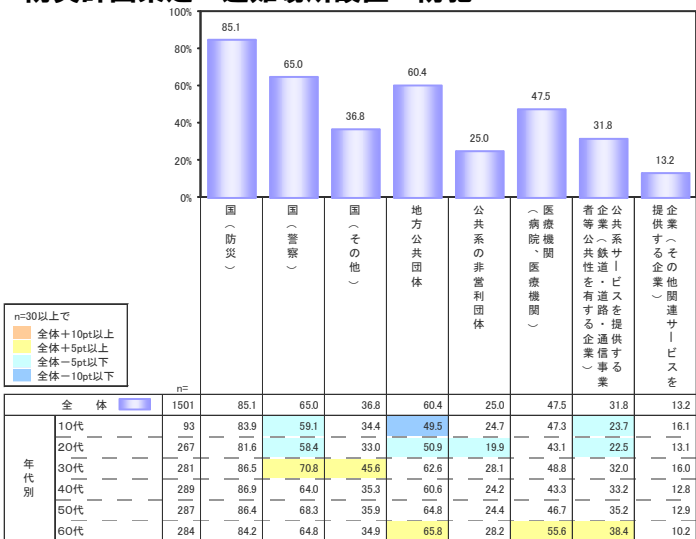
※n=30未満は参考値のため灰色。

3 交通情報・渋滞緩和



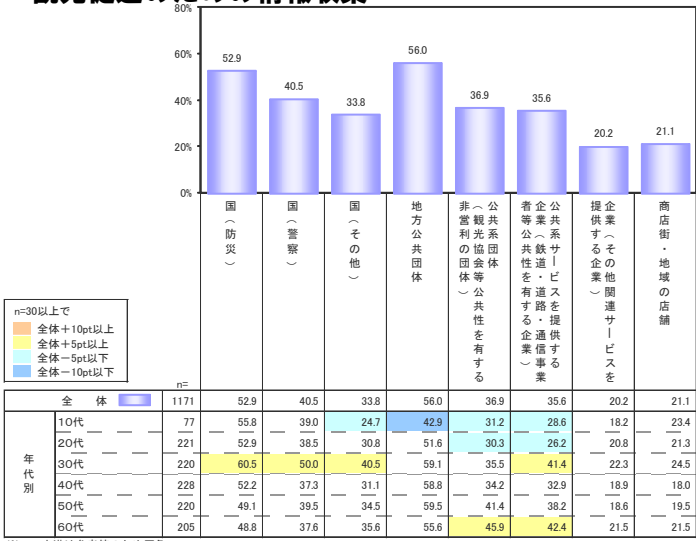
※n=30未満は参考値のため灰色。

2 防災計画策定・避難場所設置・防犯



※n=30未満は参考値のため灰色。

4 観光促進のための情報収集

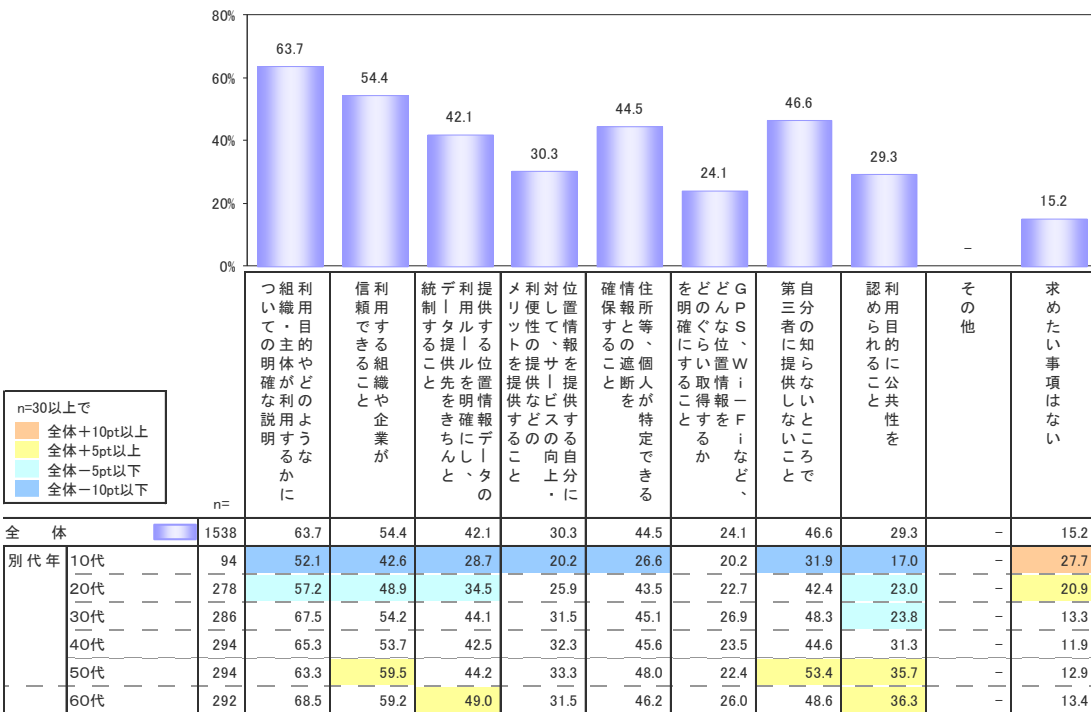


※n=30未満は参考値のため灰色。

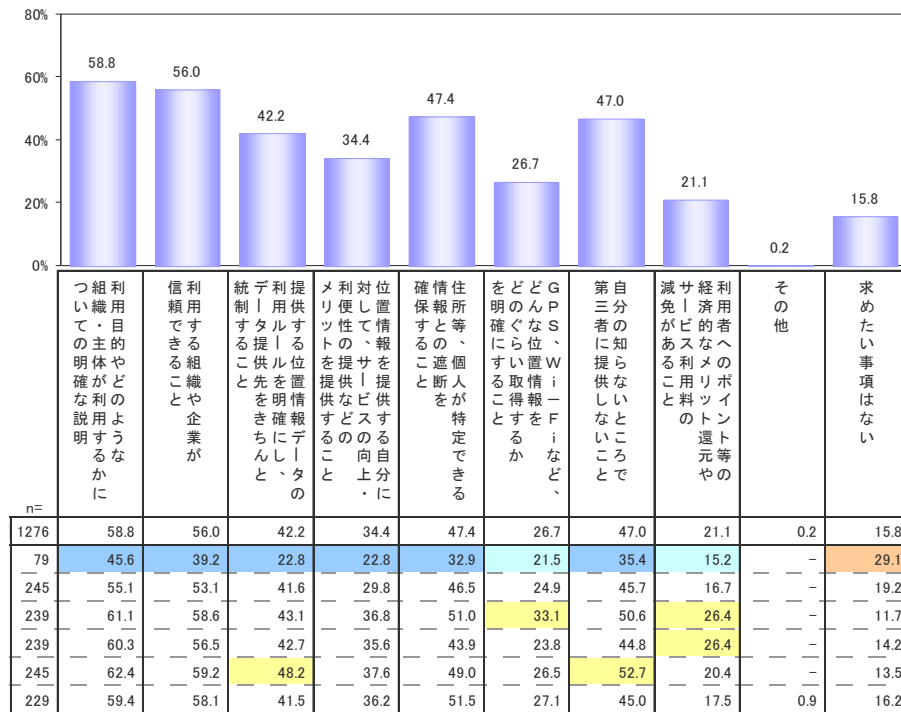
➤ 若年層は「国(防災)」を除き、全体に、「許容できる」と回答する割合が低め。

Q あなたが位置情報利用主体に求めたい事項は何ですか。あてはまるものを全てお選びください(位置情報利用許容者ベース)。

1 公共目的の場合



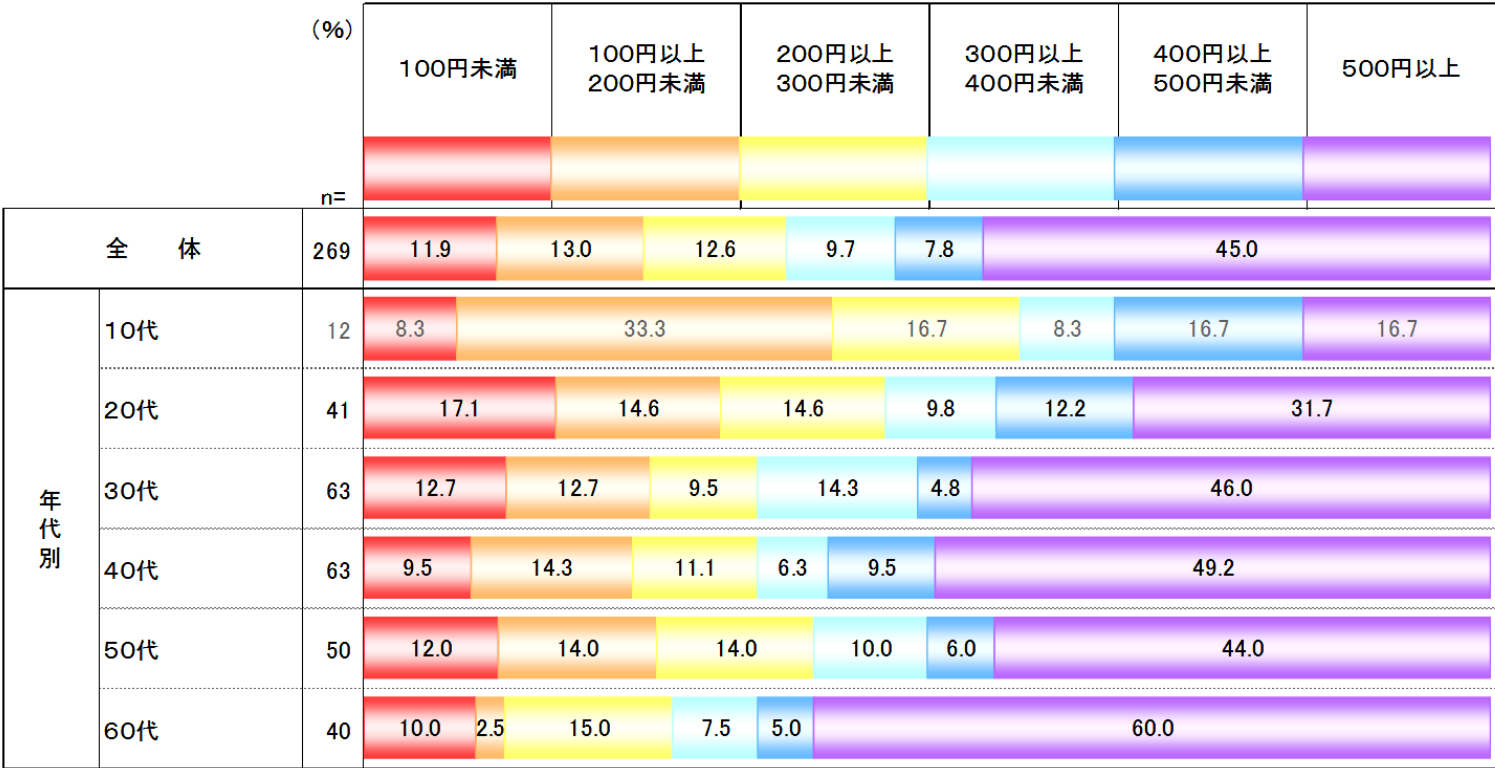
2 企業の事業目的の場合



- 「公共目的」「企業の事業目的」の双方について「利用目的やどのような組織・主体が利用するかについての明確な説明」を求める割合が最も高いが、両者を比較すると「公共目的」の場合の方が5ポイントほど高く、63.7%。
- 次いで「利用する組織や企業が信頼できること」が高く、「住所等、個人が特定できる情報との遮断」「知らないところで第三者に提供しない」「利用ルールを明確化し、データ提供先をきちんと統制すること」の3項目が4割を超え、比較的高い。
- 全体に、若年層は求めたい事項が少なめ。30代以上は特に目立った年代差がなく、位置情報利用について明確な説明や、利用主体の信頼性、取扱いの適正性を求める傾向がある。

Q 「利用者へのポイント等の経済的なメリット還元やサービス利用料の減免があること」をお選びした方にお伺いします。あなたは月いくら位のメリットがあれば許容できると思いますか

<11-2「で「企業の事業目的の場合」に位置情報利用主体に求めたい事項として「利用者へのポイント等の経済的なメリット還元やサービス利用料の減免があること」を選択した者ベース>



※n=30未満は参考値のため灰色。

➤ 位置情報の提供に対して求める金銭的なメリットは、おおむね年代が上がるほど高くなる傾向。

Q 位置情報の利用に当たり、次の各項目について、あなたはどのぐらい気になりますか。それぞれ、一つずつ選んで下さい。

			(%)		気にしない・計		気にする・計		気にしない・計	気にする・計
					全く気にしない	あまり気にしない	やや気にする	非常に気にする		
			n=							
項目	位置情報の利用目的	1600	5.5	26.3	43.4	24.8			31.8	68.2
	位置情報の取得主体	1600	5.6	26.3	42.9	25.3			31.8	68.2
	取得する位置情報の種類(GPS、基地局情報、Wi-Fi)	1600	9.6	40.7	36.8	12.9			50.3	49.7
	特定地点情報が移動情報がわかる形で取得されるか	1600	6.3	33.9	43.4	16.4			40.2	59.8
	位置情報の取得頻度	1600	6.4	33.7	44.4	15.5			40.1	59.9
	位置情報の保存期間	1600	6.3	31.6	44.3	17.8			37.9	62.1
	位置情報の保存方法	1600	6.5	28.3	42.1	23.1			34.8	65.2
	位置情報の第三者への提供の有無やその提供先	1600	4.8	17.5	33.2	44.5			22.3	77.7
	位置情報の削除要求の可否とその方法	1600	5.0	22.6	44.0	28.4			27.6	72.4
	位置情報の提供により個人が特定されないか	1600	4.6	16.9	32.5	46.0			21.5	78.5

※n=30未満は参考値のため灰色。

- 位置情報の提供にあたり「気にする」(「やや気にする」「非常に気にする」の合計)ことは、「個人が特定されないか」(78.5%)が最も高く、次いで「第三者への提供の有無やその提供先」(77.7%)、「削除要求の可否とその方法」(72.4%)が高い。
- 特に「個人が特定されないか」「第三者への提供の有無やその提供先」については、「非常に気にする」が45%前後と高い。
- 「気にしない」(「全く気にしない」「あまり気にしない」の合計)の割合が高いのは、「取得する位置情報の種類」で50.3%。

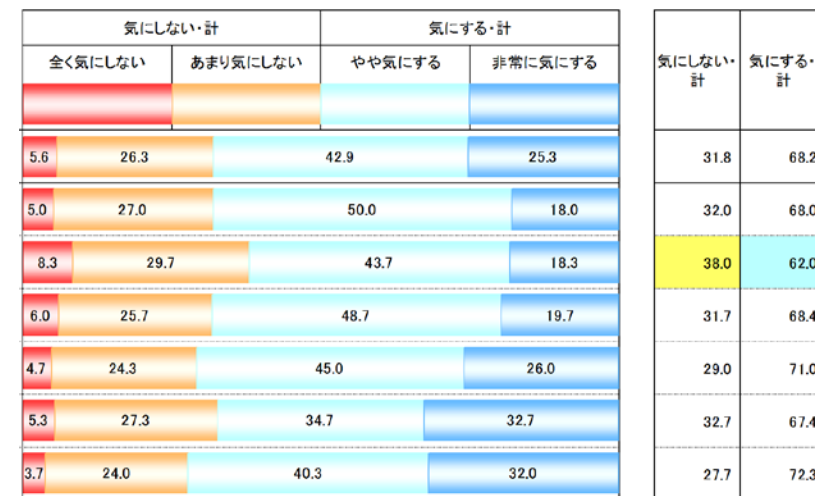
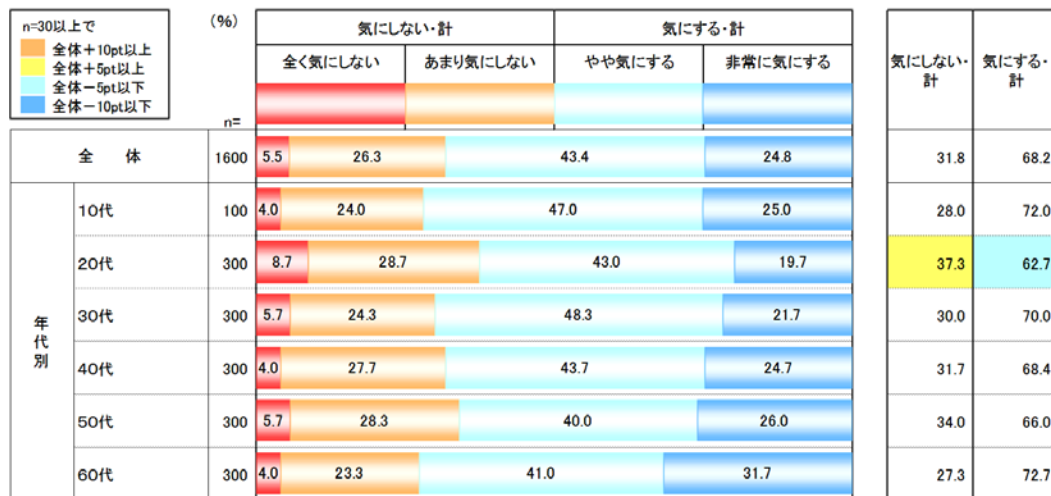
13 位置情報の利用に当たり気になる項目・割合(項目毎・年代別) -1

24

Q 位置情報の利用に当たり、次の各項目について、あなたはどのくらい気になりますか。それぞれ、一つずつ選んで下さい。

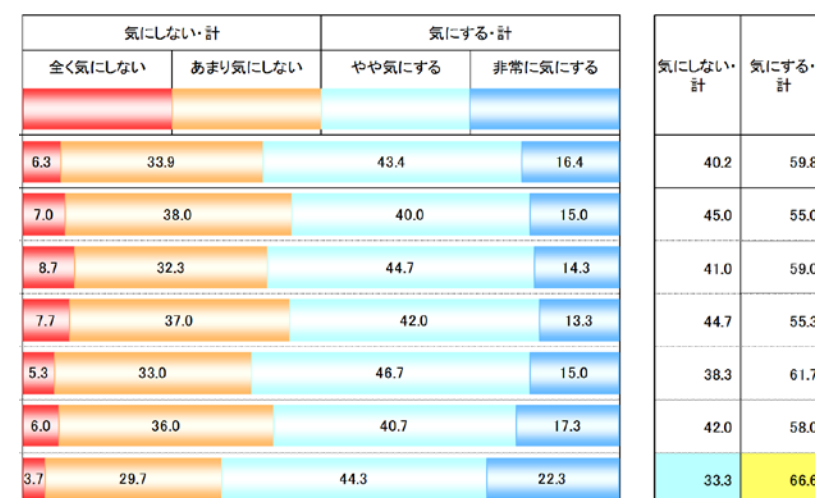
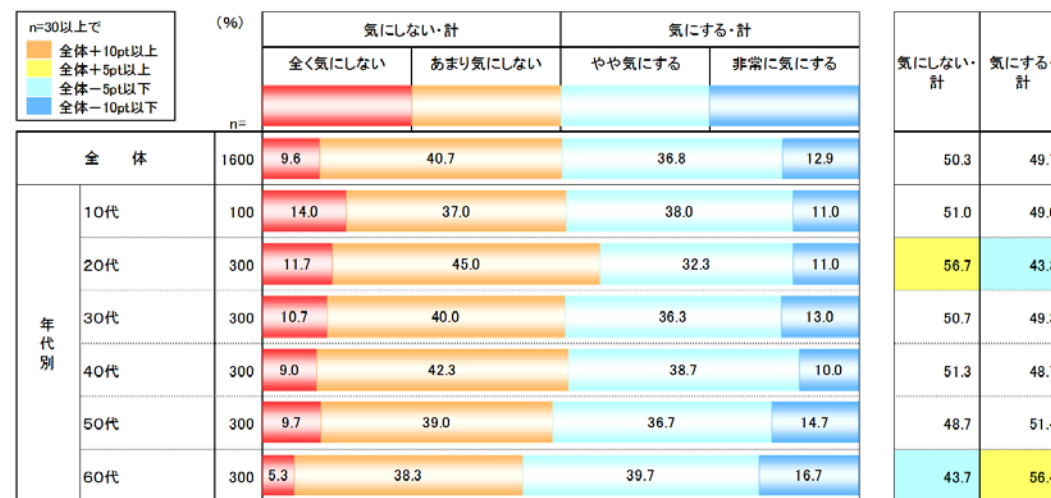
1 位置情報の利用目的

2 位置情報の取得主体



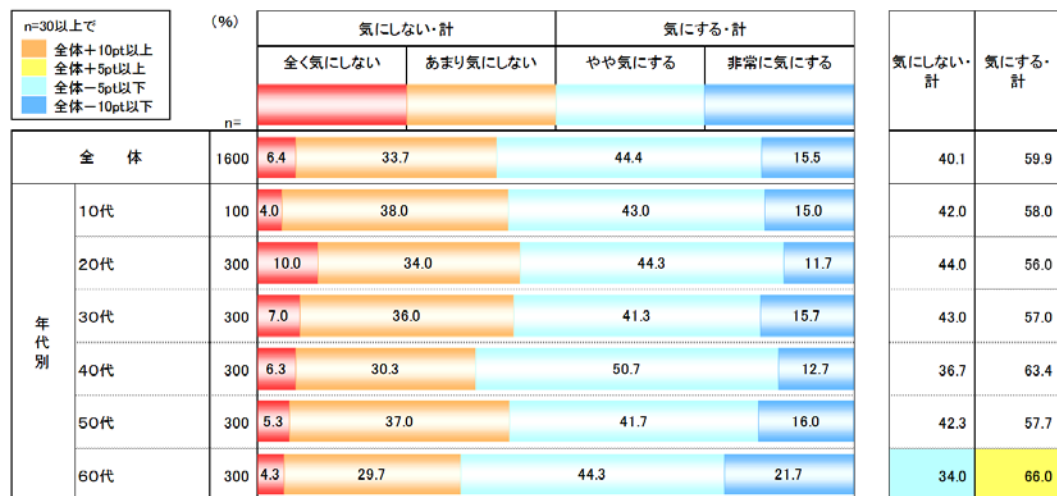
3 取得する位置情報の種類(GPS、基地局情報、Wi-Fi)

3 特定地点情報が移動情報がわかる形で取得されるか



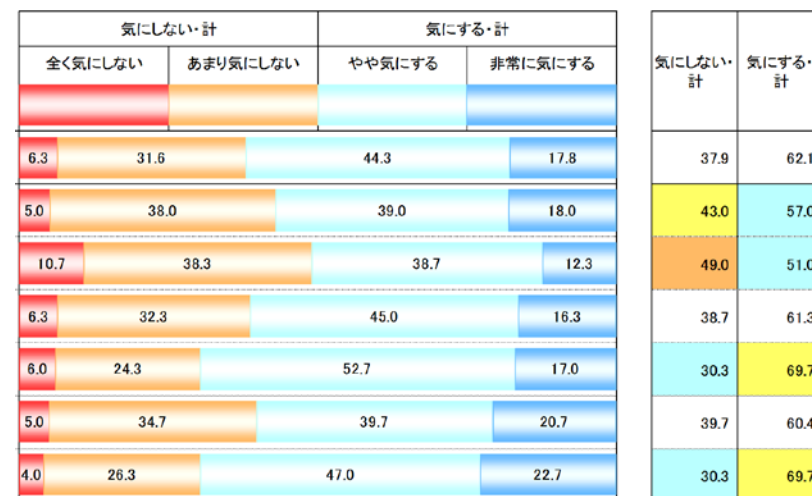
Q 位置情報の利用に当たり、次の各項目について、あなたはどのくらい気になりますか。それぞれ、一つずつ選んで下さい。

5 位置情報の取得頻度

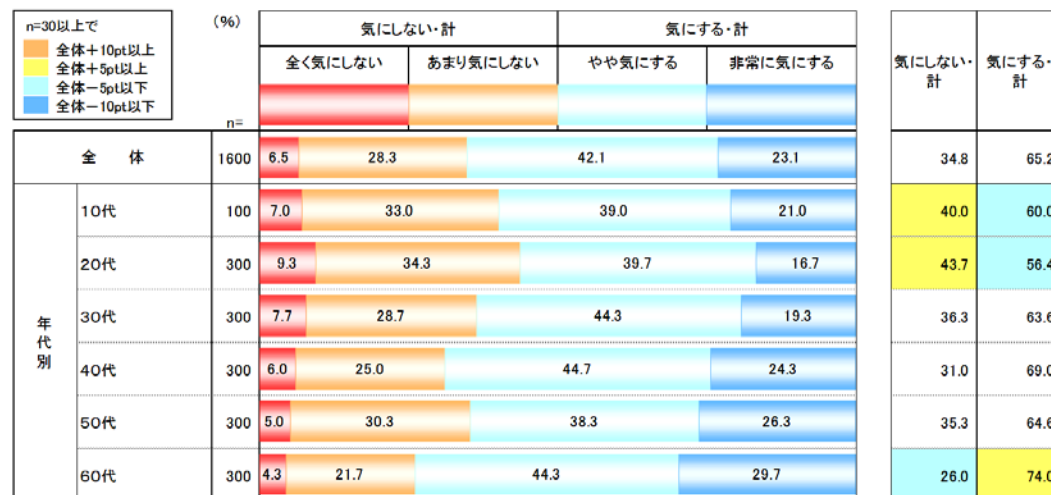


※n=30未満は参考値のため灰色。

6 位置情報の保存期間

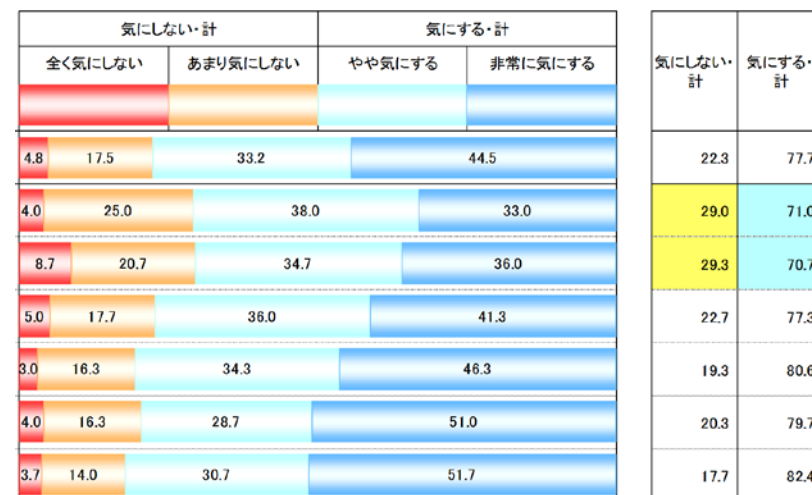


7 位置情報の保存方法



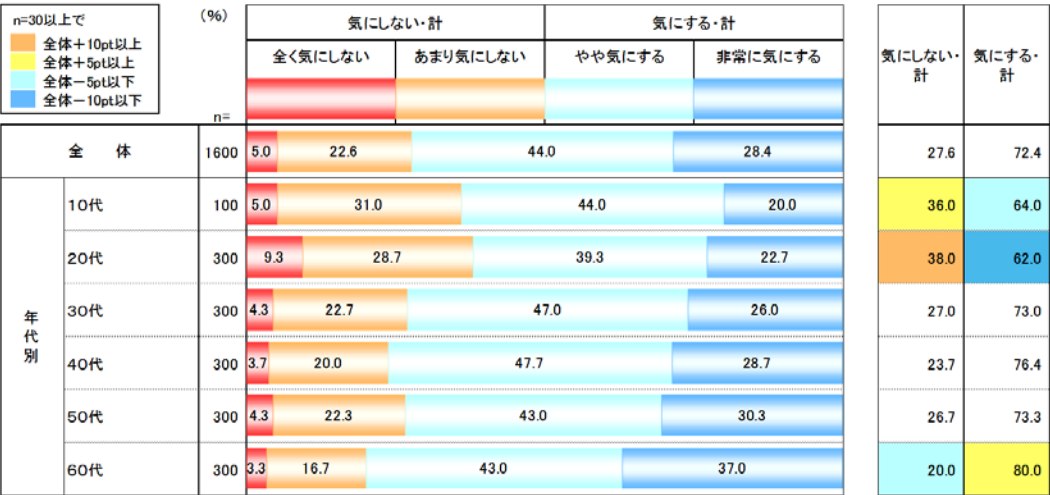
※n=30未満は参考値のため灰色。

8 位置情報の第三者への提供の有無やその提供先



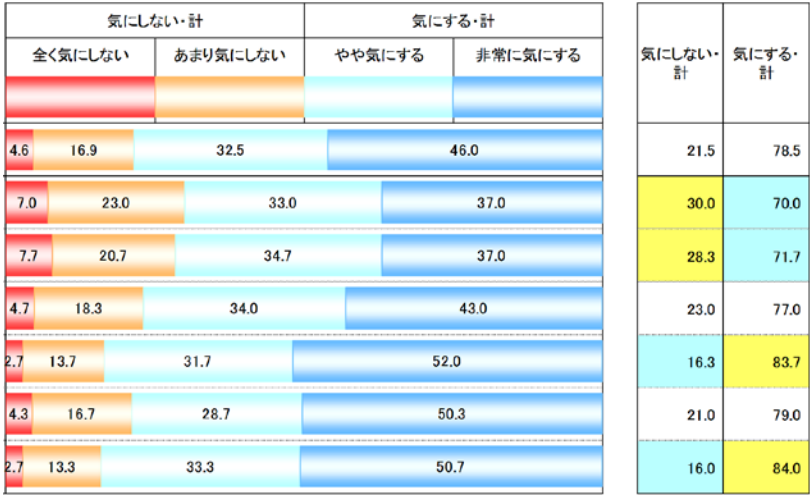
Q 位置情報の利用に当たり、次の各項目について、あなたはどのくらい気になりますか。それぞれ、一つずつ選んで下さい。

9 位置情報の削除要求の可否とその方法



※n=30未満は参考値のため灰色。

10 位置情報の提供により個人が特定されないか



- 若年層は全体に「気にしない」割合が他の年代より高め。
- 60代は全ての項目で「非常に気にする」と回答した割合が最も高いなど、全体的に「気にする」割合が高い。

14 位置情報の提供時に確認したいこと(全体)

Q あなたが位置情報の提供について、同意を求められる時に、次の各項目について、どの程度確認したいですか。

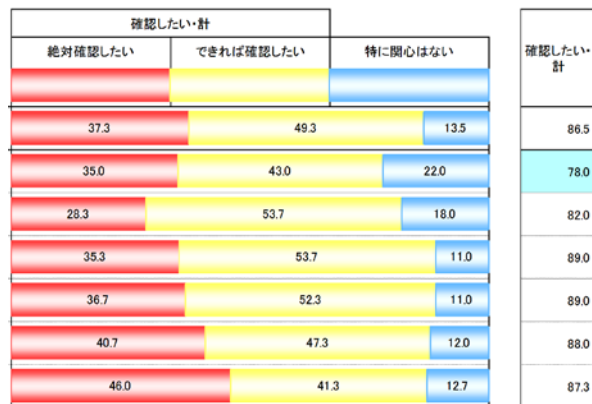
		(%)	確認したい・計			確認したい・計
			絶対確認したい	できれば確認したい	特に関心はない	
		n=				
項目	位置情報の利用目的	1600	37.3	49.3	13.5	86.5
	位置情報の取得主体	1600	33.9	50.8	15.3	84.7
	取得する位置情報の種類(GPS、基地局情報、Wi-Fi)	1600	18.6	54.4	27.0	73.0
	特定地点情報か移動情報がわかる形で取得されるか	1600	21.6	56.6	21.9	78.1
	位置情報の取得頻度	1600	21.6	55.3	23.1	76.9
	位置情報の保存期間	1600	24.8	53.9	21.4	78.6
	位置情報の保存方法	1600	25.7	52.4	21.9	78.1
	位置情報の第三者への提供の有無やその提供先	1600	47.6	37.7	14.7	85.3
	位置情報の削除要求の可否とその方法	1600	35.8	47.4	16.9	83.1
	位置情報の提供により個人が特定されないか	1600	49.3	37.3	13.5	86.5

※n=30未満は参考値のため灰色。

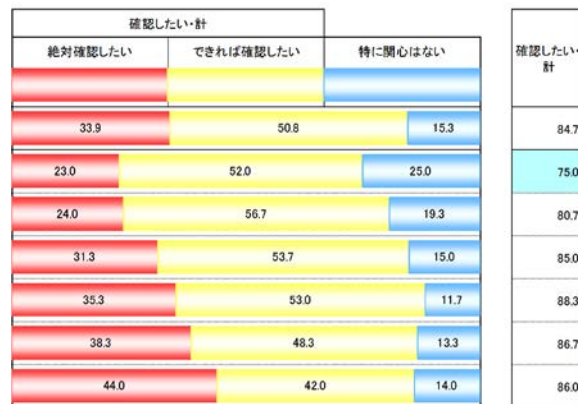
- 位置情報の提供にあたり「確認したいこと」(「絶対確認したい」「できれば確認したい」の合計)は、「位置情報の利用目的」と「個人が特定されないか」(ともに86.5%)が最も高い。
- 次に、「第三者への提供の有無やその提供先」(85.3%)、「位置情報の取得主体」(84.7%)、「削除要求の可否とその方法」(83.1%)となっており、位置情報の利用に当たり気になる度合いが高い項目と一致。

Q あなたが位置情報の提供について、同意を求められる時に、次の各項目について、どの程度確認したいですか。

1 位置情報の利用目的



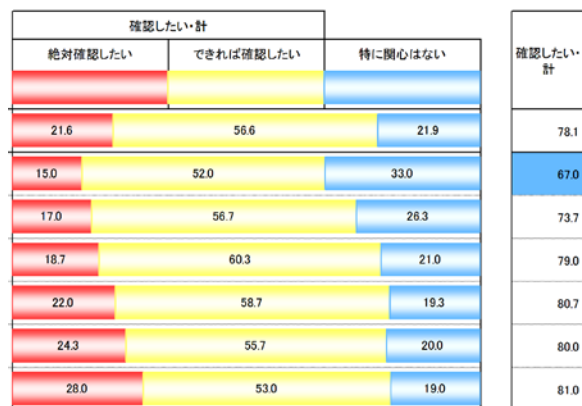
2 位置情報の取得主体



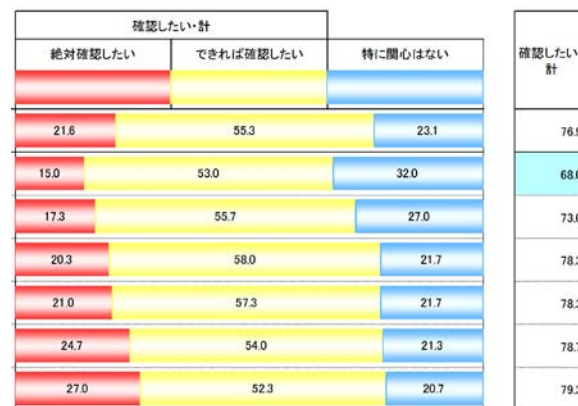
3 取得する位置情報の種類(GPS、基地局情報、Wi-Fi)



4 特定地点情報が移動情報がわかる形で取得されるか



5 位置情報の取得頻度

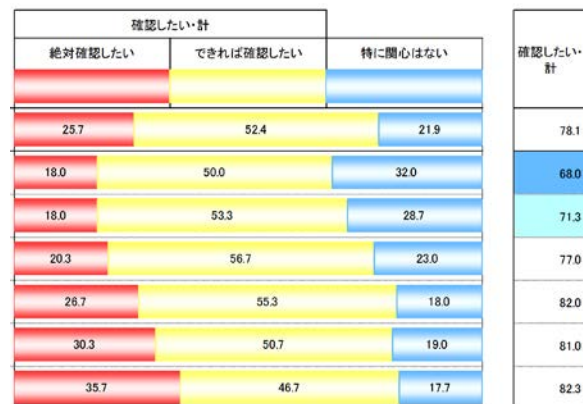


6 位置情報の保存期間

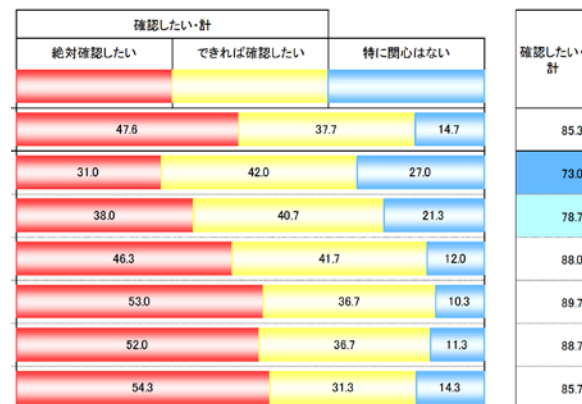


Q あなたが位置情報の提供について、同意を求められる時に、次の各項目について、どの程度確認したいですか。

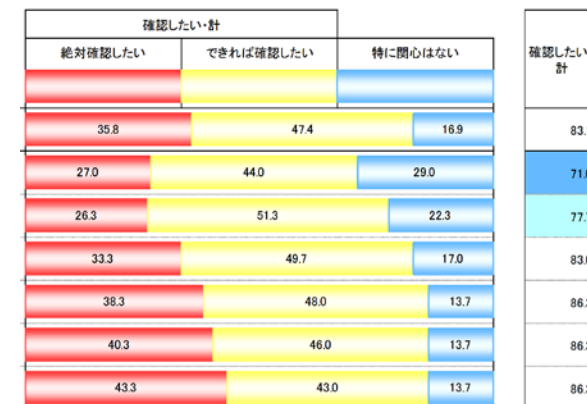
7 位置情報の保存方法



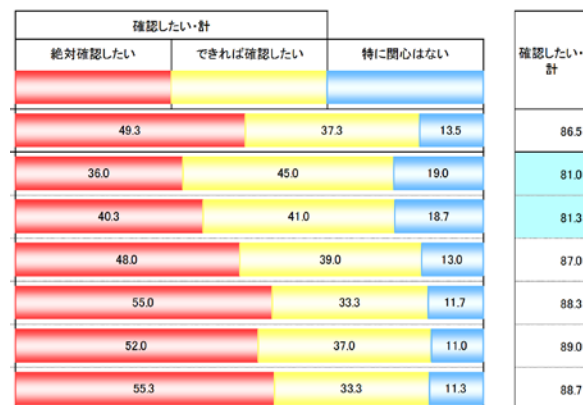
8 位置情報の第三者への提供の有無やその提供先



9 位置情報の削除要求の可否とその方法



10 位置情報の提供により個人が特定されないか



➤ 全体に若年層は「特に関心はない」割合が他の年代より高め。